

グラナダ



www.spain.info



▲ ロス・オルビダードス宮殿

産業観光商務省
 出版元: © Turespaña
 作成: Lionbridge
 NIPO: 086-17-059-4

無料配布

パンフレット内容については万全を期して作成いたしましたが、お気づきの点がございましたら、改善のために brochures@tourspain.es までメールでお知らせください。

表紙：アセキアの中庭・ヘネラリフェ
 裏表紙：サン・ニコラス展望台

目次

はじめに	3
グラナダ各地を散策してみましょう	4
アルハンブラ、時を超えて 本物と出会う旅	
夜のお出かけはアルバイシンへ サクロモンテでフラメンコを体験	
レアレホ地区	
中心部	
文化	10
グラナダを味わう	12
グラナダで季節を感じる	13
夏	
秋	
冬	
春	
子連れで楽しむグラナダ	16
街の隠れた名所	18
公園と庭園	
モニュメント	
隠れ家的美術館・博物館	
クラナダの連なる屋根の眺め	
グラナダの夜は更けて	22
グラナダの観光ルート	23
グラナダ周辺のおすすめスポット	24
アクセス方法	26
鉄道およびバス	
空港	
車	
グラナダ市内での移動	26



はじめに

▲ アルハンブラとシエラ・ネバダの景観

まるでアラジンと魔法のランプのストーリーから抜け出たような歴史ある街を散策しませんか？ ほぼ8世紀に及んだイスラム時代は、グラナダに豊かなアラブ文化の伝統を色濃く残しました。ユネスコの世界遺産に登録されているアルハンブラやアルバイシン地区は、驚くほどの美しさをたたえます。

ぜひ博物館や美術館を訪れ、グラナダの文化に触れてみてください。サクロモンテの洞窟で行われるフラメンコショーには、大興奮間違いなし。フェデリコ・ガルシア・ロルカやマヌエル・デ・ファリャのようなスペイン文学、スペイン音楽の巨匠の足跡を辿るのも良いでしょう。

夕暮れ時には、展望台から、あるいは中庭のある美しいグラナダ式住居から、サンセットを眺めましょう。忘れられない思い出になるはずです。

近くにはシエラ・ネバダ山脈などの自然が広がり、地中海の景色を眺めながらスキーを楽しんだり、サロブレニャ、モトリル、アルムニェカールのビーチで泳いだりできます。

地中海とアラブの伝統が息づく料理、普段のおつまみからアートな創作料理までそろったタパスなど、**グラナダならではの名物グルメ**をお楽しみください。

親切でフレンドリーなアンダルシアの人々との触れ合いも旅の醍醐味。助けってもらったり、一緒にはしゃいだりするうちにすっかり打ち解け、故郷のようにくつろげることでしょ。

グラナダは、ここでは紹介しきれないほどの魅力にあふれた街です。実際に訪れて、魅力を発見してください。スペインが誇る人気観光地のひとつ、グラナダへ今すぐ出発しましょう。

グラナダ各地を散策してみましょ

街角のいたるところで魅力を発見できます。アラブの香りにあふれ、たくさんの思い出に残る風景に出合えるグラナダの街で、素敵な旅の魔法にかかりましょう。

▶ ライオンの中庭 (パティオ・デ・ロス・レオネス)
アルハンブラ宮殿



アルハンブラ、 時を超えて本物と出会う旅

シエラ・ネバダ山脈に囲まれたサビカの丘の頂上に鎮座する壮大な宮殿、アルハンブラ。アラビア語で「赤い城塞」を意味するアル=カルア・アル=ハムラーがスペイン語化され、この名で呼ばれるようになりました。夢のような宮殿と美しい泉や池がある庭園を見て回りましょう。昔の時代にタイムスリップしたような不思議な気分になれます。

かつては城塞、そしてナスル朝のスルタン（王族）の住まいだったこの宮殿は、グラナダの街が誇る重要文化財です。**ナスル朝時代の宮殿**の崇高な美しさ、特に**アベンセラッヘスの間**などのタイル、柱、円天井のきらびやかな装飾は必見。3つの宮殿の**中庭**は、ペルシャとイスラムの文化から着想を得ており、楽園への入り口を表しています。ほかにも、イマ

ジネーションを刺激するシンボルにあふれています。噴水がある**ライオンの中庭**は、宮殿の中で最も美しい場所のひとつです。

西端には、軍事要塞であり、貴族の守衛の居住区域であった**アルカサバ**があります。ベラの塔から見下ろす景色は、グラナダで最も美しい眺めだと評判です。

ここには、**サンタ・マリア・デ・ラ・アルハンブラ教会**やアルハンブラ美術館、美術館があるルネサンス様式の**カルロス5世宮殿**など、さまざまな時代の素晴らしい建造物もあります。

ヘネラリフェの魔法にかかったような庭園を散歩しましょう。イスラム教徒の王の休息地で、伝説では王妃が愛人と密



グラナダ

会した場とされる「スルタナの糸杉の中庭」など、インスピレーションを感じる空間が広がります。

美しい光が魔法のように包み込む宮殿を、ぜひ訪れてみましょう。日中でも夜でもオープンしています。

① 前もって旅のプランを立てておきましょう。以下のウェブサイトからチケットを予約できます。

www.alhambra-patronato.es

夜のお出かけは アルバイシンへ

サビカの赤い丘の前には昔からのアラブ人居住地があり、狭く曲がりくねった路

地や美しいカルメン（中に庭園や畑がある、典型的なグラナダ式住居）、ムデハルの塔が見られます。

歴史と芸術あふれる宮殿、邸宅、教会はもちろん、アルバイシン全体にモスクやミナレット、水槽の遺跡があり、にぎやかで陽気な雰囲気漂います。通りには魅力的なバルが並び、タパスの食べ比べを夜通し楽しむことができます。

明るく開放的なサン・ニコラス広場がある一方、同名ながら厳格な佇まいのサン・ニコラス教会もあります。教会の見晴台からは美しい景色を眺められるので、ぜひ入ってみましょう。

ダーロ川沿いを通り、サン・ベルナルドのシトー会修道院などの史跡、アーケードにある広い中庭、街全体を見渡すテラスも訪れてみましょう。

▼ アルバイシン地区



その近くに、ナスル朝時代の建築物としてはアルバイシンでも最も良い状態で保存されている至宝、**サフラ邸**があります。アルバイシン博物館も併設されています。

高所にある**コルドバの宮殿**や**ダール・アル・オッラ宮**を巡り、ナスル様式の装飾ほか、宮殿を取り巻く果樹園や庭園の細部にまで目を配ってみましょう。一方、**サンタ・イサベル・ラ・レアル修道院**や**サンタ・カタリーナ・デ・シエナ・サフラ修道院**では、素晴らしいムデハル様式の建築美を見ることができます。

日没時には、ダーロ川の緑豊かな渓谷にある「**パセオ・デ・ロス・トゥリステス** (PASEO DE LOS TRISTES、悲しい人たちの道)」に行ってみましょう。テラスでドリンクを飲みながらサンセットを眺め、ロマンチックなひと時を過ごせます。有名なタパスバルに行くこともできます。

サクロモンテで フラメンコを体験

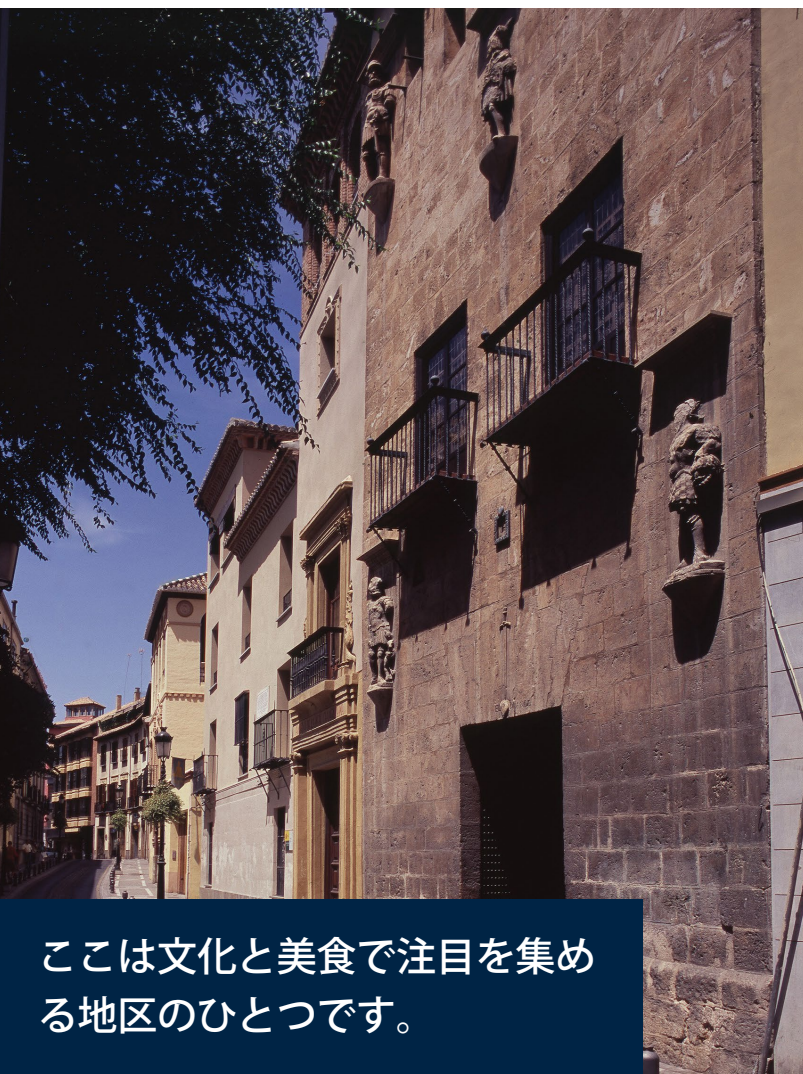
パセオ・デ・ロス・トゥリステスの奥に、グラナダでも最も美しい地区のひとつ、サクロモンテに通じる坂道があります。

山の斜面に掘られたさまざまな洞窟で有名な地区です。最も知られているのは、**サンブラス**という、夜中までフラメンコのショーでにぎわう洞窟です。

バルパライソ山の山頂には、サクロモンテ大修道院があります。16世紀に建てられたこの修道院は、身廊と礼拝堂に見られるムデハル様式・ルネッサンス様式の装飾が目を引きまます。シエラ・ネバダ山脈の景色を静かに眺めるにも最高の場所です。

急勾配に建てられた家の横を通ると、ギターやカンテ、フラメンコと共にケヒオと呼ばれる独特のこぶしが聞こえてくるかもしれません。





ここでは文化と美食で注目を集める地区のひとつです。

▲ ロス・ティロスの家

レアレホ地区

旧ユダヤ人街の外れにあるレアレホ地区は、2つの地区に分かれています。狭い道や急な坂道などが複雑に入り組む高い地区のアンテケルエラと、平坦な道で一区画ごとに四角く区切られる低い地区です。

美しいカンポ・デ・プリンシペ広場から、街の散策に出かけましょう。グラナダの街全体のシンボル「恵まれた者たち

のキリスト像」や、多くのバル、レストラン、タベルナがあります。広場はレアレホ地区の主要な通りにつながり、街中を回って魅力を発見できます。

キリスト教徒の最初の居住地ではぜひ、近くに建てられた教会や修道院を見学しておきましょう。中でも、カルメリータス・デスカルサス修道院、アングスティアス教会、サン・セリリオ教会、サン・マティアス教会、サント・ドミンゴ教会が有名です。サント・ドミンゴ教会は、ゴシック様式、ルネッサンス様式、バロック様式が共存する美しい教会で、異端審問所の本部となりました。

その近くには、アルハンブラの先駆けとなった13世紀の美しい邸宅、クアルト・レアル・デ・サント・ドミンゴがあります。現存するのはケツバと呼ばれる受付部屋のみですが、かつてナスル朝時代の女王の部屋であった空間は、訪れて損はありません。

レアレホにある個人の建造物で最も興味深いのは、ティロス一族の家です。軍事用の塔と素晴らしい装飾天井のある内部が保存されています。隣には、国際法の先駆者と考えられているイエズス会のスアレス牧師の家もあります。

中世の古い建物を通り過ぎると、バロック様式のファサードがあるビバタウビン広場に出ます。ここではアルモハド朝の建築が土台となっている壮大な城や邸宅を見ることができます。

この地区を色鮮やかに彩るのは、美しいカルメンです。中でも美しさが際立つのは、ロマンチックな庭園があるマルティレスのカルメンです。テラスからは景色を一望でき、忘れられない思い出になります。



▲ エンカルナシオン大聖堂

中心部

活気あふれる中心部の北側には**エルビラ門**があります。この門は、イスラム時代当時、グラナダに入る玄関口でした。数々の戦争や伝説を目の当たりにしてきた門は、いくつもの魅力的な通りへとつながっています。

近くにある**王立病院**は現在、大学の本部になっています。中庭や回廊、庭園では、静かに休んだり、勉学に励んだりする学生や市民の姿が見られます。立派な図書館も有名です。

歴史地区にある**サン・ヘロニモ修道院**では、主祭壇の豪華さに目を見張ることでしょう。15世紀にナスル朝のグラナダ王国を降伏へと導いた戦争の英雄で、エル・グラン・カピタンと呼ばれたゴンサロ・フェルナンデス・デ・コルドバの遺骨も眠っています。

芸術的にも宗教的にも優れた価値を持つのが、スペインで二番目の規模を誇る大聖堂、**エンカルナシオン大聖堂**です。ルネッサンス様式としては最大の大聖堂となっています。ぜひ壮大な内部を見て回りましょう。又エバ広場に隣接し、周囲の建物を圧倒するような存在感を放っています。

レコンキスタ後にカトリック両王の命によって建てられた大聖堂、**王室礼拝堂**も必ず訪れたい場所のひとつです。ここには、カスティーリャ女王イサベルとアラゴン王フェルナンド2世の墓があり、墓碑にはさまざまな意匠を凝らした彫刻が見られます。

中心地とレアレホ地区の間に建つ**コラル・デル・カルボン**の門は、グラナダで最古の建造物とされています。蹄鉄の

アーチをくぐり、古いアルオンディガ（商人が商品を貯蔵する公共の建造物）でレンガ造りの中庭を見てみましょう。最後に行きたいのは、カルメン修道院跡地に**市役所**が建つカルメン広場です。こ

こから先は繁華街となっています。にぎやかなレジェス・カトリコス通りでショッピングを楽しみ、バルやレストランが並ぶナバス通りでグラナダのグルメを堪能しましょう。

文化

偉大な詩人や作家、芸術家が集まるグラナダは、歴史が今も息づく街。宮殿、カルメン、美術館など、多くの場所で、それを実感することでしょう。

ナスル朝時代の主要な建造物として、カルロス5世宮殿があります。宮殿内には、スペイン・イスラムの文化と芸術が一堂に集まる**アルハンブラ博物館**と、スペイン最古の美術館である**グラナダ美術館**があり、どちらも必ず訪れたい場所です。ハコボ・フロレンティーノによる壮大なルネサンス様式の彫刻作品群、キリストの埋葬などが展示され、巨匠の作品やグラナダの芸術を堪能できます。

近くのベルメハスの塔そばに、**ロドリゲス・アコスタ財団**による素晴らしいカルメンがあります。芸術と自然が一体化した唯一無二の空間です。グラナダ生まれの画家、ホセ・マリア・ロドリゲス・アコスタが設計したモダニズム様式の庭園には、渓谷とシエラ・ネバダ山脈の素晴らしい景色を望むテラスが設けられています。ほかにも彫刻や隠し通路、美しい図書室など、見どころがいっぱいです。

カルトゥハ修道院は、スペインのバロック様式建築最大の建造物のひとつで、アラビア様式の古いカルメンを元に建てら



▲ カルトゥハ修道院

れました。香部屋の白い壁には豪華な装飾が施され、主祭壇の赤い大理石との美しいコントラストが目を引きます。静寂に包まれる小さな回廊は、平和そのものです。

① 詳細については、以下をご覧ください。

www.alhambra-patronato.es

www.fundacionrodriguezacosta.com



グラナダ

グラナダ を味わう

この街では、スペイン・グルメの代表格、タパスの伝統の味を楽しめます。

▲ タパス

タパス食べ歩きは、グラナダグルメを楽しめる魅力的な方法です。多くのバルでは飲み物を注文すると一品がサービスされるため、地元のさまざまな食材やレシピを試して味見できます。

好みのタパスを選べる店も多くあります。焼いたナスやイベリコ豚のソーセージ、魚のフライなど、郷土料理を味わうこともできます。ロスカと呼ばれるリング形のパンに具を挟んだサンドイッチもよく食べられています。

グラナダには、**タパスの食べ歩きに人気のエリア**がたくさんあります。ほとんど全ての広場に、テラス席と屋外レストランがあり、地元のグルメを満喫できます。

エルビラ通りと**ヌエバ広場**の北側にある通りは、タパスバルが多く集まる場所として知られています。**サン・ミゲル・バホ広場**は、**アルバイシン**でも人気の地区。また、グラナダの中心地にある歩行者天国、**ナバス通り**にはさまざまな店が並んでいます。

お茶やスイーツを楽しむなら、**カルデレリア・ヌエバ通り**がおすすめ。テテリアと呼ばれるティーサロンには、アラブ風菓子や、花、果物、スパイスの香り漂う、さまざまな種類のお茶がそろいます。グラナダ伝統菓子のピオノ、セシリオ、ダニエリートなども是非試してみましょう。

グラナダでは、創作料理も豊富。ぜひ素晴らしいテイastingメニューを味わってみましょう。古い修道院で、絶景を眺めながら本格料理を楽しむこともできます。

グラナダならではの味覚に出会うには、**青空市**を訪れるのがいちばん。新鮮な食べ物があふれる市場で、普段着のグラナダを感じられるはずです。

大聖堂からほど近い場所に、最も魅力的な市場のひとつ、**サン・アグスティン市場**があります。肉や魚、果物、野菜を売る昔ながらの店が並ぶほか、数年前に新しいグルメ・スポットもオープンしました。そこでは、市場の新鮮な食材を使った美味しい料理を楽しめます。



グラナダ で季節を感じる

グラナダでは一年を通して、数多くのフェスティバルや祭りが開催されます。古くからの伝統行事から大規模なコンサートまで、魔法のようなグラナダ体験をお楽しみください。

▲ サロブレニャ
グラナダ

夏

6月末から7月初旬にかけて、スペイン国内で最大規模の音楽コンクール、**国際音楽ダンスフェスティバル**が開催されます。さまざまな劇場や施設が会場となり、アルハンブラの庭園、聖ヘロニモ修道院、コラル・デル・カルボンなど、特別な場所も含まれます。

① プログラムや入場券など詳細については、以下をご覧ください。
granadafestival.org

サロブレニャ、アルムニェカール、モトリルなど市内から近い海辺の町で、地中海の素晴らしさを満喫しましょう。トロピカルコーストと呼ばれるグラナダ沿岸にある、サロブレニャの**プンタ・デル・リオ**や、モトリルの**カラオンダ**などのビーチは、家族連れで訪れるのにぴったり。静かな海でスキューバダイビングを楽しめる、アルムニェカールの**カンタリハン・ビーチ**もおすすめです。



▲ グラナダ・サウンド・フェスティバル

▼ シエラ・ネバダ山脈



秋

暑さが和らぐ9月末に2日間にわたって開催される**グラナダ・サウンドフェスティバル**では、ポップ・ロックが楽しめます。このフェスティバルでのコンサートは、スペインで有名です。グラナダ郊外にある近代的な**コルティホ・デル・コンデ**が、そのコンサート会場となります。フェスティバル期間中は、グラナダのさまざまな会場でライブミュージックイベントも行われます。

① 詳細については、以下をご覧ください。

www.grnadasound.com

冬

スペイン国内でウィンタースポーツを楽しむなら、人気の高い**シエラ・ネバダ山脈**のスキー場がおすすめです。

最高の雪質を誇るパウダースノーに恵まれ、晴天率が高く、最先端の設備も整います。ラグーナとベレタの各スキー場で、壮大な雪景色を眺めながら、忘れられない思い出を作りましょう。かなりの高所にあるため、晴れ渡った日には地中海まで見渡せます。

3月初旬に開催される、**国際タンゴフェスティバル**にも出かけてみませんか？10日間にわたるフェスティバル期間中、街中がアルゼンチン生まれのタンゴ一色に染まります。

① プログラムの内容については、以下をご覧ください。

tangogranada.com

春

冬から春になる季節の変わり目には、スペイン全土で**聖週間**を祝います。これは、スペインの祭りの中で最も深く根付いている宗教行事のひとつです。荘厳な雰囲気の中、音楽、芸術、豊かな色彩、厳粛な聖行列が一体となる祭りでは、キリストやマリアの像を運ぶ山車が引き回されます。

グラナダの聖週間で、思い出をたくさん作りましょう。聖水曜日の夜には「**ジプシーのキリスト**」行列があります。サクロモンテの洞窟や住居に灯される炎がゆらめく様子は壮観で、誰もが感動を覚えるはず。聖木曜日に「**沈黙のキリスト**」の宗教行列が行われると、辺りが静寂に包まれ、太鼓の響きだけが聞こえて

きます。この時のアルバイシンはひとつの色、特別な香りで満たされます。

聖金曜日の真夜中には最古の宗教行列、「**サン・ヘロニモの孤独**」が行われます。聖書にまつわる歴史的人物に扮した人々が登場する光景は圧巻で、見ごたえがあります。

グラナダでは、5月または6月に最大規模の祭典、**コルプス・クリスティのフェリア**が行われます。劇、サルスエラ、コンサート、展覧会、ショーが街中で見られます。フェリア会場のカセタと呼ばれるスタンドは陽気な人々と音楽であふれ、ここから頭でっかちの大型人形による人気の開催パレード、**タラスカ**が出発します。

▼ 聖週間



子連れで楽しむ グラナダ

子供からお年寄りまで楽しめるスポットとしては、**科学館**がおすすめです。7万平方メートル以上の敷地面積を持つ博物館にはインタラクティブな展示がそろい、ヨーロッパでも有数の文化的、科学的エンターテインメント施設となっています。

複数のパビリオンがあり、科学、人体、テクノロジーに関する展示が見られます。小さな子供向けに、遊具がいっぱいの「Explora」ルーム、屋外の公園も用意されています。プラネタリウム、展望台、バイオドーム（生物が主人公の没入型空間）でのユニークな体験は、家族全員にとって良い思い出となることでしょう。

カハグラナダ文化センターの博物館では、アンダルシアの文化や歴史を楽しく学べます。マルチメディアの展示物を通して、ローマ時代のアンダルシアの街並みや、アンダルス文化の豊かさに触れる体験ができます。博物館ではまた、ファミリー向けのアクティビティプログラムとして、ワークショップ、読み聞かせ、ゲームなどを用意しています。

近くのティコ・メディナ公園は、建造物巡りに飽きてしまった子供を遊ばせるのにぴったりです。市内で最も広大な緑地のひとつで、芝生になっている広場や遊び場ではピクニックも楽しめます。ま

た、フェデリコ・ガルシア・ロルカ公園には、アヒルのいる湖やブランコ、巨大滑り台があり、子供も大喜びです。

子連れでの移動には、**観光列車**が人気です。日中に一路線が走り、複数言語のオーディオガイドもあります。一日中、乗り降り自由です。

① 詳細については、以下をご覧ください。

www.parqueciencias.com

www.cajagranadafundacion.es

granada.city-tour.com





グラナダ

街の隠れた名所

グラナダをゆっくり旅して回るなら、行ってみたい場所はまだまだたくさんあります。

◀ カストリルの家

公園と庭園

公園や庭園では、散歩やランニングを楽しむほか、ただリラックしたり、自然に癒されたりと、快適な時間を過ごせます。

最も規模が大きいのは、**パセオ・デル・サロン庭園**と**ラ・ボンバ庭園**です。ヘニル川沿いを通る2本の遊歩道からは、美しい噴水、池、橋、パーゴラ、多種多様の植物が見られます。

キンタ・アレグレ庭園は同名の宮殿そばにあり、高低差のあるテラスから街を見渡せば、素晴らしい絶景に感動すること請け合いです。

最も有名なグラナダ生まれの詩人、劇作家に捧げられる**ガルシア・ロルカ公園**にもぜひ行ってみましょう。喧噪とは無縁の園内は、春になると魔法がかかったように美しく、時が経つのも忘れるほどです。

モニュメント

カレラ・デル・ダー口沿いには、知られざる建造物や博物館がいくつかあります。サンタ・イネスの坂道にある**アグレダ邸**は、16世紀に建てられたアグレダ家の邸宅で、最も目立つ一軒です。狭い通りにおよそ似つかわしくない、壮大なファサードが目を引きます。

目の前に建つのは、スペイン系ユダヤ人、セファルディム家の邸宅で、現在は博物館になっている**ロス・オルビダードスの宮殿**があります。ここでは、2つの興味深い展示を見ることができます。1つは異端審問、もう1つはグラナダのユダヤ文化に関するものです。

カストリル邸は、ルネッサンス様式の宮殿で、グラナダ考古学博物館があります。そのコレクションには、旧石器時代や新石器時代の出土品が含まれ、この地域に暮らした人々の日常が垣間見える貴重な展示が見られます。

ヌエバ広場には、**王立チャンシジェリア宮殿**が鎮座します。グラナダ市内で最も象徴的なマニエリスムの建築物で、現在はアンダルシア最高裁判所本部になっています。

その近くにはピサの家があり、ここではサン・ホアン・デ・ディオス美術館を見学したり、**バニュエロ**と呼ばれるアラブ式風呂にも入ってみましょう。11世紀に建てられ、レンガの円天井と星型の天窓からは、イスラム時代の息吹を感じることができます。



写真:グラナダ観光局-グラナダ市役所

▲ レアル・チャンシジェリア宮殿

▼ エル・バニュエロ





▲ マヌエル・デ・ファリャ家博物館

隠れ家的美術館・博物館

偉人たちがグラナダの街について学びましょう。ガルシア・ロルカ公園の中心に広がるサン・ビセンテ果樹園には、有名な詩人、**フェデリコ・ガルシア・ロルカの生家博物館**があります。ここは夏の別荘として使われ、最も重要な作品のいくつかが書かれたと伝わります。依然として元の構造が残り、ロルカの家具や個人的な所蔵品、興味深い書物、写真、絵画のコレクションなどが収蔵されています。

マヌエル・デ・ファリャの生家博物館では、20世紀の偉大なスペイン人作曲家の思い出に触れることができます。ファリャは、その人生の大半をアンテケルエラ・アルタのカルメンで過ごしました。そこには、彼の思い出が生き

続けています。もうひとつの魅力的な博物館としては、アルバイシンのカルメンでベルギー人の芸術家マックス・モローが晩年のすみかとした家を見学できます。

バルanco・デ・ロス・ネグロスにある**サクロモンテ洞窟博物館**では、地域と住民の歴史、自然環境との密接な関わりを紹介しています。

① 詳細については、以下をご覧ください。

www.huertadesanvicente.com
sacromontegrana.com

グラナダの展望台

丘に囲まれた街は、その不均等な地形から、高所に行くほどに美しい眺めを楽しむことができます。

アルハンブラの建築と風景を入れた、絵ハガキのような写真を撮りたいなら、アルバイシンの**サン・ニコラス展望台**へ出かけましょう。太陽が沈むと同時にナスル朝の古い要塞が赤く染まる、美しいサンセットの景色が望めます。

サン・ニコラス展望台ほど知られていませんが、同じくらい魅力的な景色を**サン・ミゲル・アルト展望台**からも見ることができます。サン・ミゲル山の頂上には、この展望台のほか、サン・ミゲル修道院もあります。修道院からは、グラナダの街とアルバイシン地区の家々の屋根が見渡せます。

赤く染まる要塞の風景はほかにも、アルバイシンから下りた場所にある**カルバハレス広場**から見られます。反対側からの景色を見たい場合は、カブレラまたはエスピノサ橋からダー口川を渡り、**チュラ展望台**に向かいましょう。あまり知られていないため、混雑しておらず、ひと息つくのに最適です。

アルハンブラ宮殿の「女王の展望台」から、グラナダの素晴らしい景色をお楽しみください。サクロモンテからグラナダの街並みを望めます。





グラナダの夜は更けて

伝統ある大学を抱えるグラナダは、学生街だけにナイトライフも充実しています。日が暮れた途端、多くの学生たちがタバスとお酒を目当てに外へ繰り出し、コンサート、映画、ナイトクラブと、夜遊びを楽しみます。街はオープンで国際的な雰囲気を感じられます。

若者に人気なのは、ペドロ・アントニオ・デ・アラルコンという、パブやライブミュージックの店がたくさん並ぶ地域です。洗練されたオシャレな店を探すなら、エルビラ通り周辺がおすすめです。

ヌエバ広場とパセオ・デ・ロス・トゥリステスの間にある多くの店では、玄人好みの音楽や照明が熟年層を魅了します。

明け方まで踊り続けたいという人は、闘牛場周辺に集まるナイトクラブに足を運んでみましょう。

グラナダは音楽アーティストやミュージックグループを数多く輩出していることでも知られています。ロックシティグラナダルートでは、有名な音楽スペース、バーやホールを訪ねます。

グラナダの観光ルート

グラナダの見どころを回る観光ルートをご紹介します。いちばんのおすすめは、**門のルート**。イスラム様式がほとんどであるエルビラ門からカロス門、シエテ・スエロス門、ビノ門などを通り、ビバランブラ門を回るルートです。これらは何千年も前の遺跡で、城壁に囲まれていた頃の名残です。

また、**イスラム教徒の遺産ルート**は、ウマイヤ朝と他のアンダルシア地方、ムルシア地方、そしてポルトガルをかつてつないでいた道を辿

り、**グラナダも通ります**。イスラム教徒の残した足跡を追いながら、歴史を追体験しましょう。

サステナブルな乗り物をチョイスして、市によるレンタル自転車サービスを利用し、30キロに及ぶ自転車専用道でグラナダを巡りましょう。エコな交通手段である自転車は小回りが利き、街の魅力に触れる機会もぐっと増えます。

① 詳細については、以下をご覧ください。

www.andalucia.org/rutas





▲ ロハ
グラナダ

グラナダ周辺のおすすめスポット

数キロ離れた場所に、美味しいスイーツで有名な歴史地区、**サンタ・フェ**があります。カトリック両王とコロンブスの間でサンタ・フェ契約が締結された場所で、**ピノノ**と呼ばれる、シロップに漬けたスポンジにカスタードクリームを載せたお菓子が名物です。

シエラ・ネバダ山脈へ行き、自然に囲まれた一日を過ごしてみませんか。シエラ・ネバダ山脈の自然公園は、ハイキングには理想的な場所です。ハイキング用シューズを履いて、公園のさまざまなトレイルを楽しみましょう。トレベレス川沿いのルート、ベレダ・デ・ラ・エストレーリャや、スペインで二番目に高い**ムラセン山**を回るルートなどがあります。

独特の魅力を持つ**ロハ**というグラナダの村には、多くの噴水があり、村中に水が流れています。宮殿、寺院、修道院、庭園、邸宅など、重要な建造物がたくさんあります。

グラナダ、アルメリア県で最も特徴的な地域は、**ラ・アルプハラ**山脈です。ここには多くの泉と、治療効果のある温泉があふれ出ている、素晴らしい自然の飛び地となっています。**ランハロン**、**オルヒバ**、**パンパネイラ**など、山の上にある白い村々も訪ねてみましょう。隠れ里で静寂に包まれるひと時を過ごしてみませんか？



アクセス方法

鉄道およびバス

グラナダに到着するには、高速鉄道（AVE）を利用できます。

また、バスターミナルからは、スペイン国内、そしてヨーロッパの各主要都市へ向かうバスが出ています。

空港

フェデリコ・ガルシア・ロルカ空港は、グラナダの中心から15キロ離れたところにあり、国内線では、マドリッド、バルセロナ、パルマ、ビルバオ、テネリフェ、ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア、オビエド、メリリャ、国際線では、パリ、ロンドンなどを結ぶ発着便があります。マラガにあるコスタ・デル・ソル国際空港も利用できます。

車

レンタカーを利用する場合、グラナダとハエン、バイレン、マドリッドを結び、南のモトリル、海岸ともつながるA-44を通ると便利です。

グラナダ市内での移動

中規模都市のため、徒歩での移動も快適です。どこに行くにも、さまざまな交通機関を利用できます。

グラナダカードでは、

グラナダの主な観光施設への入場券や交通機関サービスを提供しています。
<https://entradas.granadatur.com/>

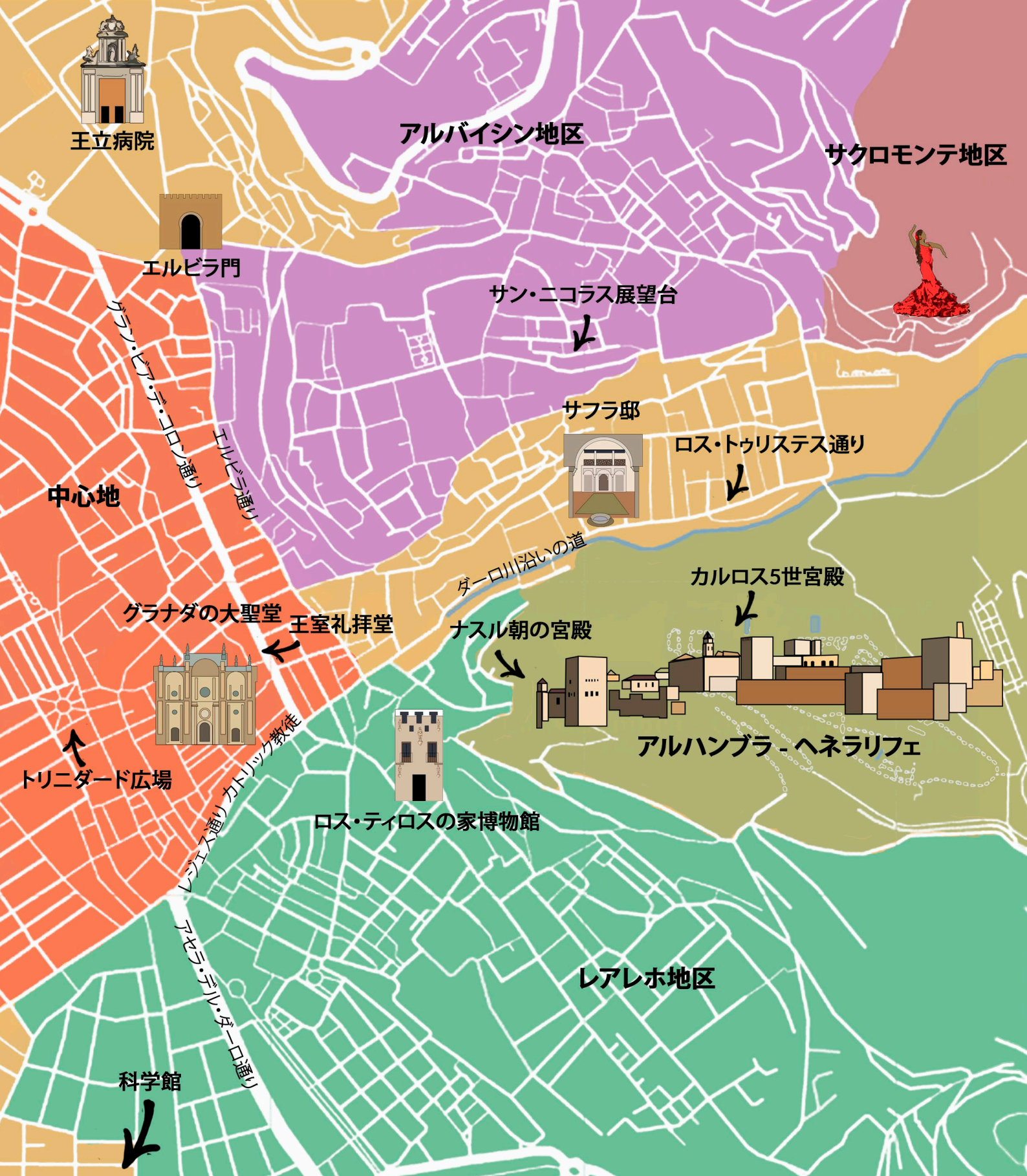
バス

タクシー同様に、市バス、観光客用バスでの移動も便利です。市バスで効率的に移動でき、アルハンブラやヘネラリフェへも、ミニバスで快適に上ることができ

レンタル自転車／スクーター

自転車、スクーター、セグウェイをレンタルし、大気を汚染することなく、エコにグラナダ市内を回りましょう。マイペースでの街巡りが叶う、クリーンで快適な方法です。どのルートで回るか計画を立てましょう。アルバイシンやサクロモンテへも坂道を上って行くことができます。





詳細情報

グラナダ観光案内所
Plaza del Carmen s/n
18071 Granada (アンダルシア)
turismo@granada.org
www.granadatur.com


スペイン政府観光局公式サイト
www.spain.info



 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain